

令和3年度 第1回 菊池市総合教育会議 (議事録)

○招集年月日 令和3年9月22日(水) 15時00分～

○招集場所 菊池市役所2階 204会議室

○議事日程

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議事録署名者の指名
- 4 議題
(1) 第3期菊池市教育振興基本計画について
(2) その他
- 5 閉会

○会議の公開、非公開又は一部非公開の別 公開

○出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員] 市長	江頭 実
教育長	音光寺 以章
教育長職務代理	森 智保美
委員	生田 博隆
委員	渡邊 和雄
委員	増永 幸一郎
委員	城 聡子

○出席オブザーバー 参与 木村 利昭

○出席職員	教育部	部長	木下 徳幸
	教育部	教育審議員	久保 敦嗣
	教育部学校教育課	課長	村田 義喜
	教育部生涯学習課	課長	古庄 和彦
	教育部社会体育課	課長	倉原 桂一
	教育部	中央公民館長	吉川 良二
	教育部	中央図書館長	安永 秀樹
○事務局	政策企画部	部長	後藤 啓太郎
	政策企画部市長公室	室長	松永 哲也
	政策企画部市長公室	係長	川口 寛史

○傍聴者 なし

○議事内容

<p>議 題</p>	<p>(1) 第3期菊池市教育振興基本計画について</p>
<p>【議長】</p>	<p>議題(1)第3期菊池市教育振興基本計画について事務局より説明を求めます。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>本日の協議につきましては、第3期菊池市教育振興基本計画となっております。これにつきましては、テーマに分けて協議を進めていただきたいと思います。</p> <p>テーマは5つとし、1つ目に教育の充実、2つ目にICT教育、3つ目に英語教育、4つ目に地域学校協働活動の更なる充実、5つ目にその他ということでスポーツの振興に分けて協議いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>【議長】</p>	<p>それではただいま事務局説明がありました5つのテーマについて、委員の皆様からご意見をいただきますが、会議の進行上、それぞれ概ね15分程度を目途としていきたいと思えます。</p> <p>まず、1つ目の教育の充実ということに関してご意見ございませんか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>今回、第3期菊池市教育振興基本計画ということで、時間をかけて本当に教育委員会の方がご尽力され素晴らしいものができていると思えます。本当にすべての内容を細やかに施策が十分に練られていてとても充実していると思えます。</p> <p>ただ、私はこの基本計画を読みながら最初に感じたことは、どれもこれもということは各学校にとって非常に難しいと思えます。だからこそ各学校の現状で地域の環境とか地域におられる人財、それから学校の子どもの実態、指導している教職員の思い、そういうのをしっかり基盤にして、これだったらうちの学校でやれるというか、ここを中心に力を入れたいという学校経営をこの基本計画を基にして実践をしていただきたいと思いますとも強く思っております。</p> <p>やはり、菊池のこの学校でこれだけは頑張っているという、そういう特徴を示すことも大事じゃないかなと思っております。</p> <p>そこで教育の充実ですが、やはり教育が一番子どもたちの基本になるものですから、これはどこの学校というわけでもありません。全部の学校で様々な子どもたちの実態に応じていかなければなりません。最近子どもたちも多様な育ちをしているため、担任1人の力ではどうしても厳しいと感じております。だからこそ補助していただける学校支援員さんの力はとても大事だと思っております。複数体制にすることによって、子どもたちの基礎学力が付き、学習意欲も高まることで学校や授業を楽しんでやれる。そういうことはとても大事だし、指導者の方も子どもたちを安心して、ゆとりを持って見れるということがあります。今もよくやられていると思えますが、今後も支援員の配置をしっかりとっていただけたら、学校現場もありがたいと思えますし、先ほどの大</p>

	<p>きな基本計画の特徴ある学校経営にも繋がっていくと思っております。</p>
<p>【議長】</p>	<p>ありがとうございました。 他に何かご意見ございますか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>学校で効果を上げていく、教師も保護者も一生懸命になって取り組みを支えていただいている。そういう中、例えばコロナ禍の中で考えますと自分の家族や親戚、知人にコロナに罹った人がいたとき、その人の子どもの心理状態はどうだろうか。そういう中で学習に集中できるのだろうかと思います。コロナだけではなく、親や兄弟姉妹のことなどいろんなことを悩みながら学校に来ている状況にあります。</p> <p>ある小学校では、朝から菓子パンを1個食べてくるのがやっとなったり、どうかすると朝は食わずに学校に来て、給食が待ち遠しい状況で生活をしている子どもたちもいるわけです。</p> <p>話は変わりますが、昔は特殊学級と言ってきましたが、今は特別支援学級、いわゆる特別支援教育というふうに変ってきました。少しのアドバイスをすることでその子が持っている能力を伸ばすことができる。そのためにいろんな形で支援をしていきたいと思いますというふうに変ってきました。対象となる子どもたちは、各学校に多いときで1割ぐらいおります。特別支援学級にいる子どもたちだけではなく、通常の学級にいる子どもたちもその対象になっているわけです。私が経験した中では、注意の仕方が悪いと興奮してしまいます。ゆっくり話を聞けば落ち着いて話ができます。しかし、周りとのバランスが悪いので強い口調で叱ると興奮してしまい、酷いときには物にあたったり、机を蹴ったり、教室を飛び出したりします。そういう場合に担任はその子を追いかけていなければいけません。そして、教室に戻し落ち着かせるまでしばらく様子を見ながら話をします。そういう場合に授業を進める者がいなくなってしまう。その子の対応だけではなく、30数名の子どもの対応を誰がするのか。そういう時に特別支援員がいて落ち着くまで話を聞いてもらうだけで授業を進めることができます。今まで何度も学校現場で子どもが教室から飛び出したり、大声を上げたり、担任が対応に苦労されていたところがあります。そういう時に特別支援員がいてくれると隣の教室で何かあっても駆け付けて対応してもらうことができますので、特別支援員の配置を計画的に進めていただければありがたいと思います。</p>
<p>【議長】</p>	<p>ありがとうございました。今、お二方に共通しているのは支援員体制の充実といった学校教育の充実ということです。 他に何かご意見ございませんか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>教育の充実として、一番身近にいる自分の子どもも含め、周りの子どもたちを見ていて感じている事は、コロナ禍で今までなかった時間が増えてきたこと</p>

	<p>により家に居る時間も増え、その時間をどうするかとなった時にゲーム、スマートフォン、インターネットなどに時間を使ってしまう現状があります。</p> <p>読書が好きになった子どもが読書を好きになってからの国語のテストの結果が急激に上がりました。それが全てではないですが、自分の好きな本を読んでいるだけで文章を読む力、読解力がすぐついたのではないかと思います。また、本を読む速さも読む冊数に応じて上がっております。</p> <p>活字離れが進んでいる今だからこそ、読書の大切さを改めて感じましたので、少しでも読書の活動を取り入れることができればいいと思いました。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。読書活動について充実させたいということでした。</p> <p>今、3人の委員さんから貴重なご意見をいただきましたが、時間の関係がありますので2番目のICT教育という観点から少しご意見を伺いたいと思います。</p>
【委員】	<p>ICTにつきましては、最近、よく耳にします1人1台タブレットということからしても、どこの市町村の学校でも横一線に並んでスタートしておりますが、コロナ禍がそれに拍車をかけている状況でございます。これをいかに上手く活用して教育の充実を図っていくかというのが、これから市町村や学校の力の見せどころかなという感じがしております。</p> <p>その中でも、先生方へのソフト面での支援をぜひ充実させていただきたいと思っております。</p> <p>外部委託で専門員の方を昨年12月から3名に増員されていると聞きました。また、ICT教育推進員の定例会にプログラム教育で連携をされている熊本高専からも参加をいただいている。そういう菊池独自の色々な取り組みを重ねながら、ICT教育の推進と有効活用による教育の充実にこれからも力を入れていただきたいと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございます。先生のソフト面での支援を通じたICT教育の充実という事でした。</p> <p>このテーマで何か他にご発言ございますか。</p>
【委員】	<p>ICTを使った教育で私が危惧するのは機械は壊れます。使い方にもよりますが機械は壊れる前提で考えなければいけないと思います。では、壊れた機械は誰が補充するのか。この辺を市長にしっかりお願いしたいと思います。大事に使えるというだけでは、学校が用心して無茶はするなどが、使わなくてもいいところは使うなという制限をかけたらもってのほかですので、ぜひそこをお願いしたい。</p> <p>それから、教育委員会でやっていただかなければいけないのが研修会の充実だと思います。できれば、その中で実践事例集を出していただきたいと思います。先生が</p>

	<p>常に研修会を開催する事はできないと思いますので、そういうのを参考にして、現場の先生方がこれだったら私も使ってみようかなと思うようなシステムを作っていただくと効果があるのではないかなと思います。</p>
【議長】	<p>スタートしたばかりですから、当面、機械は大事に使っていただきたいと思いますが、ソフトの方は研修の方を充実していきたいと思います。</p>
	<p>それでは、次のテーマであります英語教育の方に移りたいと思います。英語教育に関してどなたかご発言はございますか。</p>
【委員】	<p>英語教育は熊本県でも日本一を目指すということで非常に力を入れておられますが、実態として菊池の子どもたちもまだ英語力はなかなか付いていない。また、先生たちの指導の方も難しく、色々と課題がありますので今後やらなければならない事業だと思っています。</p>
	<p>英語力を高めるということ、それから指導者の資質向上ということはどこでもやっておられると思いますが、これに関して市長が前に採用されましたプラチナ事業ですが、子ども議会などで子どもたちの考える視点がすごく高まってきたおりとても感心しました。</p>
	<p>昨年度は、私たちもインターネットを通じて中央の大学の先生の話をお聞きしてもらい、大人でもすごく勉強になるという事を思いました。</p>
	<p>そういうことを各学校の代表の子どもたちがしっかり話を聞いて、徐々に子どもたちの力として付いてきているのだらうと思いますが、グローバルな人財を育てていくには、やはり英語力はとても大事なことだと思います。英語力の教育の指導ということと併せて、プラチナ事業を色々な中学生に機会を拡げる事で視野が広まり、自分達も英語を勉強しなくちゃいけないという思いを持つのではないかと考えておりますので、プラチナ事業は各中学校に拡げさせていただきたいという事と英語力を付けるための指導ということの環境を整えていただけたら菊池の子どもたちも英語力が高まると思います。英語力が高まると海外にも視野が広がりますので、子どもたちにいろんな広い考え方を持たせるということはとても良いことだと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。特に、外部を使った刺激と言いますか、そういう機会を増やして欲しいということでプラチナ事業に大いに期待するというご意見でした。</p>
	<p>他に何かご意見ございませんか。</p>
【委員】	<p>菊池市はグローバル人財を育てるというのが基本指針に掲げてあるわけですので、したがって、そのためには日本語だけでは世界で通用しませんので、世界で広く使われている英語を話せる、英語で人と対話ができるような人財を育てることでグローバルな人財も育っていくと思います。</p> <p>その中で、英語教育も理科とか算数などに合わせ高学年では教科担任制の導</p>

	<p>入が話題になったりしておりますが、教科というと何か身構えて英語に立ち向かうことになりがちだと思います。</p> <p>例えば、アメリカにいる子どもたちは、能力の差に関係なく英語が話せるようになるわけです。そういう感覚で教科になる前の子どもたちでも英語に親しまれるような取り組みもあれば、先ほどのプラチナみたいにリーダーも育ちながら幅広くボトムアップができるのではないかと思います。</p> <p>玉名市の玉陵学園、玉陵小中一貫校ですが、そこでは独自の英語教材を作成して取り組んでおられるというの聞いております。同じような事ということではありませんが、一つの視点として、英語が身近な言葉として取り組めるようなことをしていただくとより底辺が広がってくるのではないかなと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。より楽しめるような取り組みが効果的ではないかという事でした。</p>
	<p>他に何かこのテーマでございせんか。</p>
【委員】	<p>コロナが拡がる前に家族で中国に行った時、中国でも英語をちょっと話せるだけである程度コミュニケーションが取れ、子どもたちが短い間でも覚えた英語をすごく楽しそうに嬉しそうに話しておりました。</p> <p>小学校の授業でも楽しみをすごく感じ、家でも話してくれていたのですが、中学校に入り文法などに一生懸命になり過ぎて、苦手意識を持ち、英語が苦手だという気持ちが根付いてしまい、英語から離れていってしまう子どもたちが多いような気がしますので、楽しみながら英語を身近に感じられるようになれば良いと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に移りたいと思います。4番目に地域学校協働活動の更なる充実という事で、このテーマに関して何かご意見ございますか。</p>
【委員】	<p>地域学校協働活動は、学校を核とした地域づくりであります。その地域づくりを進めるにあたり菊池が先進市でありますコミュニティスクールと連動して、この活動を行うというのが基本的な枠組みだと理解しております。コミュニティスクールの学校評議員の方の中にも地域の方が入っていただいて、学校の地域協働活動のPRをしていただいていると聞いておりますが、より一層広げていくことがこの活動の充実に繋がるのではないかなと思います。</p> <p>そういう面では、例えば、学校評議員のメンバー以外の方でも、泗水、旭志、七城の各支所の職員もそういう活動に加わるなどして輪を少しでも広げていく工夫をしていただければ、さらに良いのではないかなと思います。</p> <p>来年にはフォーラムの開催を予定してあるので、市長からもそういう場でぜひPRをお願いできればと思います。</p>

【議長】	<p>ありがとうございました。特に、このテーマでは地域で関わる人の輪をもっと増やしていくことが重要だということですね。今のご意見についても庁内で検討していきたいと思います。</p> <p>他に何かこのテーマでございますか。</p>
【委員】	<p>地域と学校が一緒になって子どもたちを育てていく。子どもだけじゃなく大人も育てていかなければいけないと思いますが、そういう意味で視点を変えて考えたとき、今、子ども会の組織がだんだん衰退していると聞いています。</p> <p>地域で子どもたちを中心に親と一緒に集まって活動する場が無くなってきている。学校でしかないという現状があるのではないだろうかと思います。いくつかの地区では、子ども会と地域が一緒になって子どもから大人まで参加する行事が行われています。ただ、この数が少しずつ減ってきているのではないかという気がしています。</p> <p>じいちゃん、ばあちゃん、親、子、そういった人達が全部集まって一つの活動をする。その中で色んなことを学んできたと思うわけですが、そういう場が無くなってきている。</p> <p>行政あるいは学校が何かしなさいという押し付けといいますか、そういう感じになってしまい、地域の中で自らが何かそういう伝統的にやっていたという場がもっともって増えてきて欲しいという思いがあります。</p> <p>地域で何かしようとしたときに、補助金など出していただくとごまかしもできませんが出来るような感じがします。</p> <p>その辺を担当部局で話し合っていたら具体化していただければありがたいと思います。</p>
【議長】	<p>ありがとうございました。子ども会の減少に伴う色々な問題を軸にご意見をいただきましたけど、全くその通りでありまして、ただそれは現象面の一つであります。実際には、人口減少に伴って高齢化も同時に進行し、コミュニティーをどう維持するかというのが自治体の中における一大テーマになっています。日本全体が人口減少していくわけですから、この流れを、何か有効な方法で止められるかという、これは結構時間もかかりますし、すぐには無理だと思います。じゃあ駄目かということそうでもなく、人口が少ないのが何かいけないというわけではありません。人口の少ないところは幸せが少ないかというと、ユニセフの調べで世界一幸福な国は大体人口が少ないところ。ノルウェー、デンマーク、スイス、つまり質といいますか中身の方が大事だと思います。そうすると、地域に与えられた資源、人も入りますが、その中でどういうふうに分ち合いにやっていく、ある意味、非常に根本的なところをもう1回見つめ直すしかないと思っております。人が増えてる東京は幸せが多いかというと、必ずしもそうでもないかもしれません。むしろ地震があったり、大災害だったり、コロナだったり、人々は逃げ道として田園、田舎などの人間的な暮らしという部分を求めているわけですから、そういう良さに早く皆が気づ</p>

	<p>いて、それを活かすにはどういふふうに分たちでやっていけるかと地域が自分事としてどう動くか、気づくか、そこをぜひ子どもたちを取り入れながら地域活性化につなげていくという視点が非常に重要だと思ひました。</p> <p>何かこのテーマで他にご意見ござひませんか。</p>
【委員】	<p>今、子どもたちと地域の関わりが大変薄くなつて思ひます。</p> <p>やはり、地域の方は子どもたちのことをしっかり見守りたいとか、地域で育てたいという気持ちがあられます。ですが、そういった接点がどんどん薄くなつてしまひ、こちらから何かしようかなとしてもどうするかノウハウがわからない。また、昔あつた子ども会活動もどんどん廃れてしまひ、保護者が忙しひから世話が出来なひという実態があられます。</p> <p>この地域学校協働活動によって、そこの繋がりを推進員の方にしていただくことによつて、地域の方がどんどん学校に入つてきてもらひ、そして、学校とどう繋がるかということのノウハウをそこで学んでいただひて広げていくことによひ、学校と地域が連携して何かを成し遂げようという雰囲気が出てくると思ひます。</p> <p>そのためには、この地域学校協働活動は本当に開かれた学校作りには絶対に欠かせなひ部分でありますし、今後は特に、菊池の良さが発見できる一番の活動だと思ひますので行政も一緒になつてやっていかなくては行けなひと思つておひます。</p>
【議長】	<p>ありがとうございます。大変貴重なご意見をそれぞれからいただきありがとうございます。</p> <p>それでは、5番目のその他ということでは何かござひませんか。</p>
【委員】	<p>スポーツ振興について、今、コロナ禍ということではスポーツに対する制限がされてる状況ではありますが、徐々にワクチン接種などによひ良くなるのではないかと思ひておひます。</p> <p>今回の教育振興基本計画の中にもありますスポーツを「する」「みる」「支える」そういう形のものを通して、高齢者も子どももそうですが、特に子どもたちの体力がなひというか、特に体幹が弱い。</p> <p>少しだけでも腹筋、背筋、腕立てをすれば問題ないですが、今の子は見えないとやらないから、それを見る指導というものも必要になると思ひます。</p> <p>あと市民体育祭がありますが、市民スポーツフェスティバルみたいな形で、記録会的なものをする生きがひづくりの1つになるのではないかなと思ひます。</p> <p>それと、スポーツに対して栄養学、トレーニング学とメンタルトレーニングの3つを取り入れて、特に食育はやられてると思ひますが、保護者がどれだけ栄養分を考えた料理を考えられてるか。保護者の中には、朝、時間がないからといってコンビニの弁当を買つて行けとお金だけ渡すという人もおられ</p>

ます。そういう面で食トレとか栄養学の部分を小学校、中学校などで保護者に講演をしてはどうかと思います。

トレーニング学やメンタルトレーニングも同じですが、トレーニング学は専門的になりますし、高齢者は自分たちでジョギングやウォーキングをしたり、施設でゆっくりトレーニングをされているかもしれませんが、ここで言いたいのは栄養学とメンタルの強化です。やはり心が強くないといけないと思います。それには体力も栄養も必要ですが、簡単に言えば学校でも体力がないから集中力がないという形も出てきますし、メンタル面が強化できれば不登校などの対策にも繋がるのではないかと思います。

それと、食トレに対しては、自宅や学校でもそうですが、体重計は必ずあると思います。今の体重計は記録データが優れていて、自分の年齢などを入れると、体重、水分量、骨の重さ、皮下脂肪など様々なデータが出ますので、それを毎日個人で管理していくと体調管理にも繋がっていくと思います。

スポーツの持つ4つの柱は1つ目が元気。スポーツを通してみんな元気になりますという事。2つ目が感動。スポーツはみんなに感動を与える。3つ目が仲間。チームスポーツも個人スポーツもやはり仲間というのが必要になってくる。この仲間意識が将来に大きく影響し、より良い人生を築けるのではないかと思います。4つ目は成長。この4つ、「元気」、「感動」、「仲間」、「成長」というのはスポーツの持つ4つの柱ですから、スポーツを通して自分のパフォーマンスを発揮しながら、自分の人生を楽しんでいくという形にしたらどうかと思います。

今年、徳島県阿南市の阿南光高校が甲子園に出ましたが、阿南市には産業部の中に「野球のまち推進課」があります。野球に関するイベントや観光ツアーによって人を呼ぶ。教育だけでなく観光面もありますが、そういう事業をやっていたら、今年、甲子園に初出場したということですから、菊池市でも全体的なまちづくりを推進するため、例えば、菊池南中が剣道で全国優勝したものを題材とした大会を菊池でやるとかそういうものを大きくイベント化してもいいのではないかなと思っております。

【議長】

ありがとうございました。大変貴重なご意見でした。特に体幹が弱いというところは、子どもは全般的に多いと思います。体力も心の体幹も少し弱い部分があるのかもしれませんが。スポーツを通じてその部分を磨いていくというのは大変素晴らしい提言だと思います。

また、提案のありました記録会ですが、これは競技会みたいに競うのではなく、自分の記録を少しずつ更新していくことを楽しみにするというのでしょうか。

【委員】

それもありますし、オリンピックみたいに1位2位を決めたり、全員が一緒にゴールするかはわかりませんが、例えば、70歳でも100メートル何秒で走るとかそういう大会や記録があって、菊池市でそういう大会をイベントとして

<p>【議長】</p> <p>【オブザーバー】</p>	<p>実施するのもいいと思います。</p> <p>今まで無かった視点でのご意見でした。それから、スポーツとまちづくりの組み合わせですが、これは非常にいい視点だと思います。特に、剣道日本一という非常に心躍るような題材もありました。もともと菊池は剣道の強いところでもありますし、観光施策としても菊池一族を前面に出しておりますので、「侍のまち」というふうなコンセプトの作り方もあるかもしれません。</p> <p>他にこのテーマでもその他ということでも何かございませんか。</p> <p>今日、委員の皆様から大変重要なご指摘をいただいております。また、教育というのはむしろ学ぶ楽しさみたいなものを子どもたちが共通に持つことが大変大事ではないかと思っております。</p> <p>教科がすべて決まっています、その教科について教育が行われていきますから、どうしても最初に堅苦しい印象になると思っております。</p> <p>例えば、ユヴァル・ノア・ハラリというイスラエルの歴史学者がサピエンス全史という本を書いています、すごく面白いことが書いてあります。140億年前に物質とエネルギーと時間と空間が誕生した。これがビッグバンなのですが、こういう宇宙の基本的構成要素を説明するのが物理学ですよ。そして、それから30万年後に物質とエネルギーが融合して複雑な構造が生まれた。原子のほかに、原子と原子が融合して分子になり、この原子や分子の相互作用を説明するのが化学。そして、今度は40億年前に地球という惑星上で特定の分子が結合して大きく複雑な構造が生まれた。これが生命で、これを説明するのが生物学です。</p> <p>そして、7万年ほど前に人類という生物がさらに高度な構造物を生み出すようになった。これが文明なんです、この文明の発展を説明するのが歴史学というようなことで、ビッグバンから歴史を遡ってきてこういうことが生まれているのですよというような壮大な話がこの中に出てきます。こういう話を聞いてると、そうなんだという感動が私には生まれました。</p> <p>例えば、物理学などで法則を学ぶことは元より大切なことですが、こういう歴史の中で物理学は成り立ってきたんですよ、みたいなことを話していただく時間もあつたらいいなと思っております。やらされた感じじゃない、主体的な学びに繋がっていくこともあるような気がします。</p> <p>もう1点は、先ほど地域学校協働活動の話がございましたが、子ども会の組織がすごく弱ってます。家の近所には無いところもあります。そういう中ではありますが、それでも、まだ小学生の頃は子ども会の組織がそれなりにあって、区から子ども会と一緒にしましょうという子ども会が動いてくれます。ところが、中学生になった瞬間に部活があつたり、塾に行つたりなど、完全に地域から中学生が離れている実態があります。そこで何とか出来ないかという事を考えたところですが、中学校の生徒会活動を活性化させることも含め、中学校の生徒会の中に地域部会みたいなものを作ってはどうかと思ったところです。</p>
-----------------------------	--

<p>【議長】</p>	<p>中学生が自分の住んでいる所で地域と協働して何かできることはないかを自分達で考え、取り組む、そうしたことで、その地域の伝統文化の継承とか郷土愛に繋がっていくのではないかと思いますし、そのようなことをもっと教育委員会の方でも考え、推進していただければありがたいと思いました。</p> <p>その他何かございますか。</p> <p>今日、委員の皆様から活発な議論、そしてまた様々な視点でのお話をいただきまして非常に実りの多い会議であったと思います。ご指摘の中で大きなヒントになったものもありますので、こうしたものも検討に着手していきたいと思えますし、ロングランで取り組むものもあると思えますので、地道に息切れしないように長期的に取り組んでいくような考えでいきたいと思ったところがあります。</p> <p>今日のテーマを参考にしながら、教育委員会においても、また、連携する市長部局においても全力で具体化できるように進めていきたいと思えます。</p> <p>(2) その他</p> <p>委員の皆様より何かございませんか。</p> <p>・・・【質疑なし】・・・</p> <p>事務局よりありますか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>ありません。</p>
<p>【議長】</p>	<p>それでは、本日予定しました議題については以上でございます。これで終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

菊池市総合教育会議運営要綱第 12 条によりここに署名する。

委員 渡邊 和雄 